

# 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター内） **Nara IDSC**

## 今週の概要

- 第 45 週の感染症情報
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（10 月月報）
- 病原体（ウイルス）検出情報（10 月）

## 第 45 週の感染症情報（11 月 4 日(月)～11 月 10 日(日)）

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週間からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	3.56	↑	↑	↑	→～↑
2	RS ウイルス感染症	1.06	→	↑	→～↓	↓
3	水痘	0.47	→	→	→	↓
4	突発性発しん	0.41	→～↑	→	↑	↓
5	A 群溶連菌咽頭炎	0.26	→～↓	→～↓	→～↓	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

**県北部地区概況** 報告数（44→45 週）は 94→115 例と推移した。上位 5 疾患は ①感染性胃腸炎（40→62 例）、②RS ウイルス感染症（12→22 例）、③水痘（7→9 例）、④突発性発しん（7→6 例）、⑤A 群溶連菌咽頭炎（14→5 例）。眼科定点の報告は流行性角結膜炎が 1 例あった。基幹定点の報告は無菌性髄膜炎が 1 例あった。  
（有山 記）

**県中部地区概況** 報告数は 94 例で、前週報告の 73 例から増加。上位 3 疾患は、①感染性胃腸炎、②RS ウイルス感染症、③突発性しんで、水痘（7→7 例）が続き、以下、A 群溶連菌咽頭炎、手足口病（ともに 4 例）の順。感染性胃腸炎の報告数（29→52 例）は、ほぼ倍増。突発性しんの報告数（8 例）は、増加。RS ウイルス感染症の報告数（14 例）は、やや減少。桜井 HC および葛城 HC 両管内基幹定点と眼科定点からの報告は、すべてなかった。  
（村井 記）

**県南部地区概況** 報告数（44→45 週）は 8→8 例と同数で推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（4→7 例）、②マイコプラズマ肺炎【基幹定点】（1→1 例）であった。  
（柳生 記）

## 【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（10月月報）】

平成25年10月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下のとおりです。

### ・性感染症患者数（人）

疾病名\報告月	10月		前月（9月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	8	0.89	10	1.11
性器ヘルペスウイルス感染症	4	0.44	2	0.22
尖圭コンジローマ	0	0	0	0
淋菌感染症	4	0.44	3	0.33

### ・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾病名\報告月	10月		前月（9月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41	6.83	31	5.17
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	12	2	6	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

## 【病原体（ウイルス）検出情報（平成25年10月）】

病原体定点医療機関から保健研究センターに搬入された検体について、10月に検出したウイルスは以下のとおりです。

（平成25年10月検出分）

検出病原体		北部	中部	南部	臨床診断名
RS			15		RSウイルス疑(5) 気管支炎(10)
エコー	11		1		感染性胃腸炎(1)
コクサッキー	A2		1		エンテロウイルス疑(1)
コクサッキー	A6		5		手足口病(5)
コクサッキー	B1		1		胃腸炎(1)

